

A. ピアサポーター向け

<p>科目 A-3</p>	<p>不妊症・不育症患者が抱える特有の悩みや不安</p>	<p>講師名</p>	<p>坂上明子 武蔵野大学看護学部 教授</p>	<p>時間数</p>	<p>講義 45分</p>
<p>[科目目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊症・不育症患者が抱える心理・社会的問題について理解できる。 ・支援の原則と社会資源、多職種連携について理解できる。 					
<p>[内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不妊症・不育症患者が抱える心理・社会的問題（15分×2） <ol style="list-style-type: none"> 1) 女性のライフサイクルと不妊症・不育症 2) 不妊症・不育症患者が抱える悩みや不安 3) 不妊症・不育症患者が抱える社会的問題 2. 支援に活用できる社会資源とピアサポーターを含めた多職種連携（15分） <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療施設における支援 2) ピアサポーターとしての支援 3) 地域における支援と連携 <p>[受講される皆様へのメッセージ]</p> <p>男女ともに結婚年齢や妊娠にチャレンジする年齢が上昇し、不妊症・不育症に悩むカップルは増えています。SDGs 持続可能な開発目標の3「すべての人に健康と福祉を」においても、「性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする」ことを目標に掲げています。不妊治療中だけでなく、そのあとにつづく家族の生活や福祉、健康を踏まえて、不妊症・不育症に悩むカップルを社会としてどのように支援していけばよいのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>					
<p>[参考図書等]</p> <p>講義の中でご紹介します。</p>					